事業所名　こども発達支援センターどーなつ・どーなつあらお

# 支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日　2025 年　3 月　1 日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | その子の人権や主体性を尊重し、その子の最善の利益を図るため、保護者や地域社会と連携を図りながら、その子が社会で自立して楽しく暮らせるよう取り組みます。 | | |
| 支援方針 | ・利用者の能力に応じて、自立した生活を営むことが出来るよう支援します。<br>・その子に合った支援方法を考慮し支援を行います。<br>・協力機関と協調しながら支援を行います。 | | |
| 営業時間（サービス提供時間） | 平日　１２：００　～　１７：００<br>学校休業日　９：３０　～　１６：３０ | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | |
| 本人支援　健康・生活 | ・視覚支援を用いて見通しを持たせて生活リズムの安定を図り、日常生活動作の訓練を行います。<br>・それぞれの障がい特性に配慮し、発達段階に合わせた生活スキルの習得を目指します。 | | |
| 本人支援　運動・感覚 | ・サーキットエリアを活用し、興味関心のある運動や身体バランスを強化するような運動を取り入れ、危険対処や体力向上に努める支援を行います。<br>・一人一人の運動能力の差や感覚の特異性に配慮した支援を行います。 | | |
| 本人支援　認知・行動 | ・アセスメントを重視し、一人一人に合った支援を行います。<br>・様々な個別課題を駆使して、認知力を高める支援を行います。<br>・認知行動療法を活用し、心の安定を促す支援を行います。 | | |
| 本人支援　言語<br>コミュニケーション | ・PECS（絵カード交換方式コミュニケーションシステム）を活用し、コミュニケーション能力を向上させ、同時に発信力の強化を行います。<br>・語彙力の強化等様々な課題を使った支援を行います。 | | |
| 本人支援　人間関係<br>社会性 | ・コミック会話等の技術を活用し状況を理解して対処できる支援を行う。<br>・グループ活動を通して他者との関わり方を習得させ、特に待つことの大切さを教えています。 | | |
| 家族支援 | ・連絡帳や送迎時に情報を提供や収集に努め、情報共有を行っています。<br>・定期的な面談に加え、必要に応じて面談を行い、相談に応じています。<br>・年に３回外部講師を招いて、保護者対象の研修会を行っています。 | 移行支援 | ・積極的に支援会議に参加し情報の共有に努めます。 |
| 地域支援・地域連携 | ・関係機関（保育園・幼稚園）の担任の先生等の見学を積極的に受け入れ、連携の強化に努めています。<br>・定期的な保護者研修会、地域支援者等研修会を行っています。 | 職員の質の向上 | ・定期的に内部研修会を行い、年に１回は外部講師を招いて研修会を行っています。<br>・専門的な支援を学ぶ外部研修会も積極的に参加しています。 |
| 主な行事等 | 外出及び買い物の実践活動（長期休暇時）、プール（夏期５～６回）、クリスマス会 | | |